



## 「乗務員勤務制度の見直し」に踏まえ、安全・健康・ゆとり・働かがいの担保された乗務員職場を創る申し入れ 第2回団体交渉を行う！⑥

### 【設備改善】

19. 乗務員の睡眠時間を拡大するため、乗務員宿泊所等の浴室やシャワー室を増設し、入浴の順番待ちを解消すること。

- ①成田駅乗務員宿泊所(女性乗務員用) ②勝浦駅乗務員宿泊所(男性乗務員用)  
③蘇我運輸区本区庁舎(女性乗務員用) ④幕張車セ乗務員宿泊所(女性乗務員用)

【回答】これまでも必要な設備の整備を行ってきたところであり、今後も必要な箇所について整備を進めていく考えである。

(会社) 成田駅乗泊(女性用)は、ドライヤー使用時の脱衣所の独占使用を防ぐ指導を行い、順番待ちを大幅に減少した。

勝浦駅乗泊(男性用)、蘇我本区(女性用)は現時点で待ち時間があるとの声が出ていないため、関係箇所に確認する。

幕張車セ乗泊(女性用)は設備拡大の工事を始めている。

(組合) 勝浦駅乗泊については特に多く声が出ている。

(会社) 各区所からの(会社内ルートでの)設備要求に基づき、優先順位をつけている。勝浦乗泊(男性用)の管理区は鴨川運輸区であり、鴨川運輸区から声が上がっていない。

(組合) 使用している区所からの声も反映させるべきだ。

(会社) 勝浦乗泊(男性用)なら、使用区である蘇我運輸区から、管理区である鴨川運輸区に要望が行き、そこから(支社へ)声があがるルートである。管理区に確認して調査したい。

20. 乗務員の睡眠の質を向上させるため、乗務員宿泊所の建て替えもしくはリフォームにより防音・防振化を図ること。なお、消臭およびカビ対策を行うこと。

- ①佐倉電留線乗務員宿泊所【防音・防振】  
②上総一ノ宮駅乗務員宿泊所(男性運転士用)【防音・防振・消臭】  
③大原駅乗務員宿泊所【防音・防振】  
④木更津運輸区他区乗務員宿泊所【防音・防振】  
⑤久留里駅乗務員宿泊所【カビ対策】

【回答】これまでも必要な設備の整備を行ってきたところであり、今後も必要な箇所について整備を進めていく考えである。

(会社) どの箇所も老朽化が進んでいるが、予算には限りがあり、優先順位をつけて取り組む。大原は何かしらの対応ができないか検討中である。

佐倉電留線の騒音は声が上がっていない。

上総一ノ宮は、排水管の臭いがあつたため修繕した。

木更津運輸区は本区ロッカー室のカビ対策を検討している。

(組合) 木更津など、入換時の騒音や振動が大きく防音・防振を求める声が多い。なぜ進捗しないのか。

(会社) 金額が大きく、予算にも限りがあるため。耐震性はどの箇所もクリアしている。